



南高
進路だより

律・啓・創
HOP! STEP! JUMP!

10月号

平成26年10月2日
福島南高・進路指導部

10月の行事

- | | |
|--|--|
| 1日(水) 後期始業日
衣替え | 13日(月) 体育の日 |
| 2日(木) 学びの森I
第5回服装頭髪指導
専門高校プロジェクト | 16日(木) 薬物乱用防止教室(2学年)
修学旅行事前健康診断
1学年スタディサポート①～③ |
| 7日(火) 防災避難訓練
授業 ① ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ | 17日(金) ベネッセ・駿台記述模試(3年)～18日 |
| 8日(水) 第3回進学推薦会議 | 22日(水) 芸術鑑賞会(①・③・④授業) |
| 9日(木) 学びの森II
遠足(1・3年) | 24日(金) 第3回全統記述模試(3年)～25日
進研総合学力テスト(2年) |
| 10日(金) 第2回英検 準会場 | 25日(土) 第4回看護医療全国模試(3年) |
| 11日(土) 創立記念日
第3回全統マーク模試 福大・3年 | 26日(土) 第6回全商会計実務検定 |
| | 31日(金) 時間割変更(火曜日②～⑦)
修学旅行結団式(2学年は4校時まで) |

東北大学オープンキャンパスに参加して

今年度のオープンキャンパスは昨年度に引き続き東北大学に参加してきた。実際の生徒

達の感想を共有してみよう。

Q 大学・学部印象はどうでしたか？

文理科の回答

たくさんの学部があった かしこい人が多かった 優しい人が多い
活気にあふれていて良い大学だと感じた 資料がとても多かった どの学部も楽しそう
内容がとても難しかった 色々な設備が整っていた

国際文化科の回答

説明がとても分かりやすかった 高校とは違い大人の雰囲気だった 大人の雰囲気
勉強しやすい環境だった やりたいことをやっていて楽しそうだった
とても堅いイメージがあったが、楽しく研究をしていた それぞれ自分のやりたいことを研究してい
た 外国人がたくさんいて印象が変わった

情報会計科の回答

様々なジャンルの学部がとても充実していた 一人一人が自分の目標に向かって勉強や研究をし
ているように思えた 学生がみんな礼儀正しく大人だった 全てにおいてイメージと違っていた
大学では自分の好きな分野を自主的に学ぶのだと思った

Q オープンキャンパスで一番印象に残っているのは？

文理科の回答

助教授の方々に直接心理学、臨床心理学、行動科学について話を聞くことができた
先生の講義で「ひたすら勉強なさい」と言われた　たくさん資料があり、その中には見たこともないような古い資料がたくさんあった　ダイヤモンドに関して本物、偽物の見分ける体験ができた　酸素の実験の時のコマゴメピペットが、見たこともないもので感動した　東北大の学生の態度の悪さ　キャンパスに落雷があったこと

国際文化科の回答

外国から来た留学生がちゃんと日本語で説明できていたことに驚いた　今話題の IPS 細胞を歯の面でどのように活用していくかを聞いたこと　英語学研究についての教授による説明
中国に留学した大学生の話を聞いて中国に行ってみたいと思った　“経済”といっても、マクロ経済、ミクロ経済、金融、財政、企業経営、管理会計、財務経営、経済史、経営史など様々な種類があることを学んだ　カフェで飲んだ「ミルクコーラ」がコップの中で分離したまま入っているのがすごいと思った

情報会計科の回答

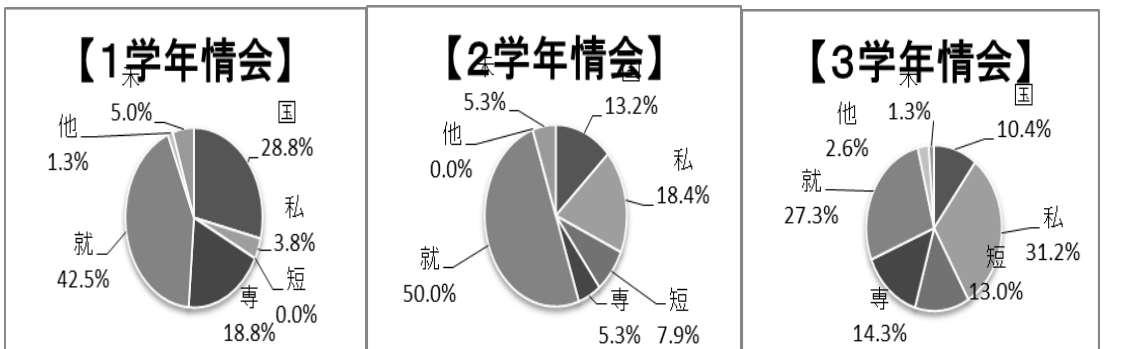
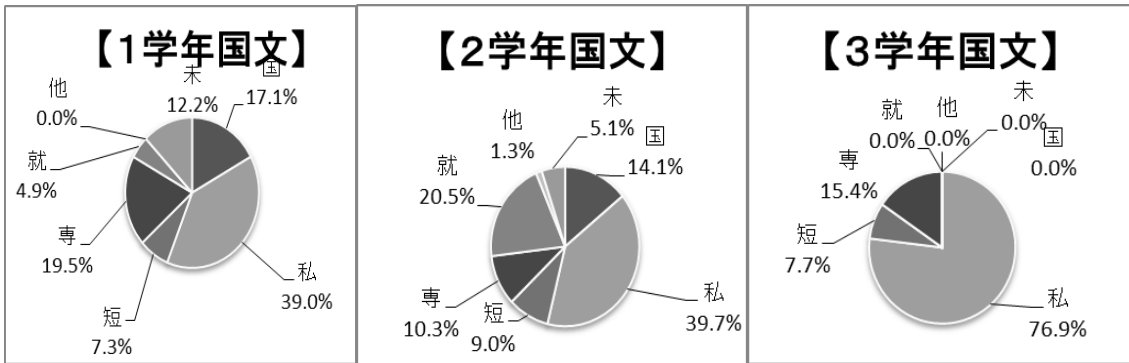
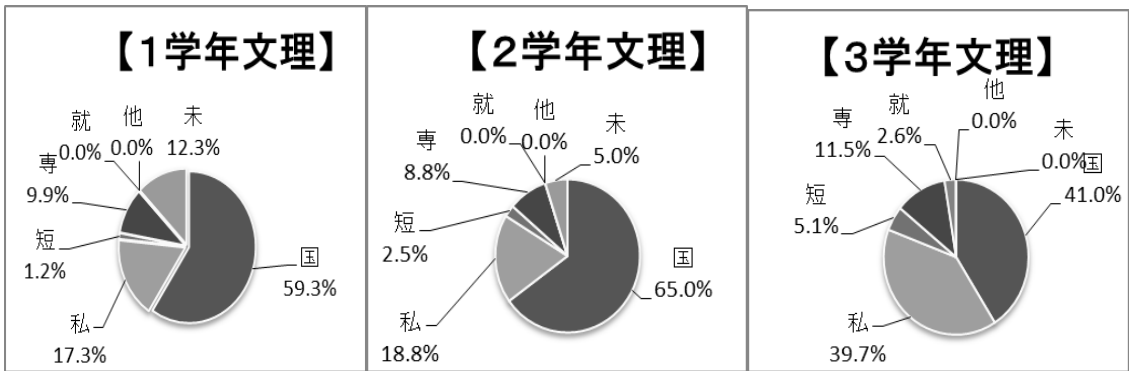
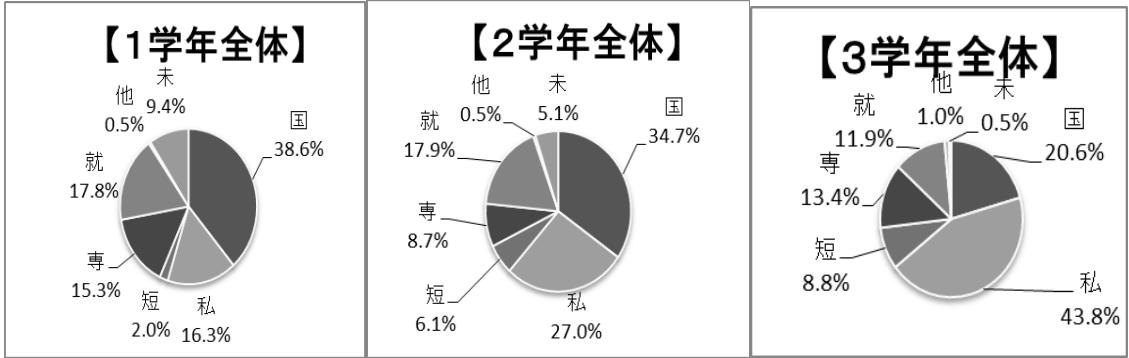
大学の広さ：良い環境で勉強ができると思った　ホールで演舞をしていた応援団の発表が力強かった　会計士になるまでの道のりについて　宗教学やインド学など、あまり知らない学問があり驚いた　大ホールで講義を聴けたこと　プラズマに触れたこと　地震体験
一番広い講義室で行われた経営学の講義　大学生との雑談会：そこで大学に入るためにはどうすればいいのかなどを聞いた　文学史のヨーロッパ史の資料室見学　小・中・高と違って大学はとも広く、学ぶものによって建物が分かれていたこと

進路から

生徒の感想を見るとまずは「印象が変わった」という言葉が目立ちました。みなさんは東北大学にどういったイメージを持っていたのでしょうか？この言葉から分かるのは、みなさんがまだ「大学について何も知らない」ということです。3年生になってから、受験生になってから、と考えている生徒は、ここでちゃんと調べ始めましょう。3年生になってから調べ始めるのは遅すぎます。今将来への目標があるから、それに向けてどう行動するべきかが分かるのです。目標も何もなければ、どんな準備をすればよいか、が分かりません。大学については3年生になってから、ではなく「高校生になってから」調べるのです。なので1年生の皆さんはもう高校生になって半年が過ぎました。早く自分の将来のことをちゃんと考えて情報を集めて下さい。そして「受験生になってから」と考えている人。君たちはもう受験生です。大学受験への準備は高校に入学した時点で始まっています。意識を変えていきましょう。

次に印象に残っていることの欄には様々なことが書いてありました。上に掲載してあるのはほんの一部です。今回初めて大学のキャンパスに入った人も多いでしょう。色々な話を大学の先生、先輩方から聞いてきたことと思います。見たこともないものを見てきたり、聞いたこともない言葉を聞いてきたり、とても良い刺激を受けたのではないのでしょうか。大学生は自由に、自分の勉強したいことを研究していた、などの言葉もありました。さあ、そこで一番大事なことは何だと思えますか。それはまず君たちが「大学生になる」ことです。そして「どの大学」の大学生になれるかです。大学入試のライバルは全国の高校生です。皆さんが今まで近所で競り合ってきた相手とは違います。そのことを理解して日々を過ごさないと気がついたら迷子になりますよ。このオープンキャンパスの経験をしかして、今何をすべきかを考えて行動してみよう。

第2回進路希望調査の結果



進路希望調査第1回との比較

1 学年 — 早く目標を定めよう

国立大学への希望者は 25.4%から 24.8%と、0.6%減っただけであり変化はない。公立大学希望者は 12.4%から 13.9%へ 1.5 ポイント増えた。私立大学希望者は 13.4%から 16.3%と 2.9 ポイント増えた。全体的には大学への進学希望者が増えたということになる。しかし、進学希望者が増えているという現実とは裏腹に 1 年生の学習に対する意識は下降気味である。普通の高校 1 年生は大体入学から半年経つ頃、つまり夏休み明けのこの時期に中だるみが始まる。慣れすぎたのか、勉強以外に興味を持ち始めたのか。理由は何にせよ南の 1 年生も結局「普通の高校生」になっている。このままでは 2 年後も結果は同じであり、進学先、進学率もほぼ変わらないか、むしろ停滞する可能性も十分にある。今すべきことは何か。オープンキャンパスの欄にも書いたが、まずは目標を定めることである。3 年生になってから自分の学力を見て決めるのではなく、今目標を決めてそのレベルまで上がる努力をすることが大切である。君たちにはまだまだ秘めた力がある。食欲に知識を求めよう。若さには無限の可能性があるので、自分が、自分にしかできないことを早めに見つけることが大成へのスタートである。

2 学年 — 自分の希望先の調査、そして修学旅行で何かをつかみ取る

2 学年の結果はまず国立大学希望者がなんとこの短い間に 29.3%から 23.5%と 5.8 ポイントも下がった。公立大学希望者は 7.1%から 11.2%と 4.1 ポイント上昇、私立大学希望者は 19.7%から 27.0%へ上昇した。国立大学希望者が減った反面、私立大学希望者は大幅に増えた。大学進学希望者が増えたのではあるが、私立大学希望者がかなり多い。夏休みの間に色々オープンキャンパスなどに参加してのことであろうと思うが希望する大学がどういう場所であるかをちゃんと見極めて欲しい。「なぜその大学なのか」をいつ誰に聞かれても答えられるほど調べ上げないと後々後悔してしまう。もう間もなく修学旅行である。外の世界を見ることはとても良いことである。きっとみんなの進路に影響する経験ができると思うので、ぜひそういった目で参加して欲しい。ただ、「外国に初めて行って、買い物たくさんして楽しかった！」という感想にならないように、楽しみながらかつ色々見てきて欲しい。もう受験は目前だ。早くそれに気づき行動して欲しい。

3 学年 — 限界の先は、それを求めた者しか到達できない

国立大学希望者は 16.0%とわずか 0.2%減ったのみである。公立大学希望者は 6.0%から 4.6%へ減少。私立大学は 36.2%から 43.8%へ増加。もう直前なので現実的に自分を見つめなくてはならない時期ではある。しかし偏差値は試験直前まで伸びる。毎年国公立大学、私立の第一希望校に合格する生徒は最後まであきらめなかった生徒である。自分がどうしてもその大学に入りたい、と思うのであればひたすら勉強するしかない。みんなはもしかしたら「ひたすら何かをする」という経験がないかもしれない。それはきっと何かを本当にひたすらやり遂げ、何かを成し得た者にしか分からないことかもしれない。まだ少し時間はある。もちろん 3 ヶ月で偏差値を 10 も上げるのは極めて難しい。しかし努力し続けるとまったく上昇もしないのである。自分の望む進路へ向けてがむしゃらに、ひたすらやる時期なのだ。自分がどれほど頑張れるかやってみてはいかがかな？限界を超えた先は、努力し続けた者にしか見えないのだ